

かわら版

社団法人版第 33 号

発行責任者 社団法人北海道社会福祉士会会長 柏 浩文

巻頭言

「北海道介護福祉士会とは」

一般社団法人 北海道介護福祉士会
会長 小 泉 昭 江

初夏の候、北海道社会福祉士会の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。当会もこの度5月19日に一般社団法人化を行いまして晴れて法人格を取得いたしました。全国的にも法人化は進んでおり北海道も遅れながらも今年度実現することができました。これもひとえに皆様方の日頃のご支援、ご協力があったからだこの場をお借り致しまして深くお礼と感謝を申し上げます。

私ども北海道介護福祉士会は現在札幌を拠点に道内10支部の支部構成にて活動をしている職能団体でございます。研修事業を始め、一昨年からは「介護実習指導者特別講座」とし年3回程度、日本介護福祉士会、厚生労働省の委託事業として取り組ませて頂いております。道内には約5万人の介護福祉士が様々な方面で活躍しています。教育に携わる介護福祉士や高齢者施設はもちろん、在宅や障害者等の介護など多岐にわたっているのが現状です。介護保険施行以来、ますます急増する高齢者の皆様の支援をさせて頂ける状況にて、日々邁進し勉強をさせて頂いております。会員数もまだまだ少なく介護福祉士会の存在すらわからない介護福祉士さんも数多くいらっしゃるのではないのでしょうか。そんな中、啓蒙活動を含め、多くの皆様に賛同して頂けるような会運営を行っています。介護を取り巻く現状、離職率の問題や労働賃金の問題など、昨今の介護福祉を取り巻く状況から、何かとマイナスなイメージばかり先行してしまっ、何をすることも苦境に立たされているような感じすら受けてしまいます。そんな時だからこそ自分たちが最初に描いた「夢」、志した時の気持ちを思い起こしていきたいという願いから、医療・保健・福祉という分野からだけではなく、幅広くいろんな知識を習得できる切っ掛けになればと取り組んでおります。

今回、7月のソーシャルワーカーディにおいて連携というお話を頂き、共同してシンポジウムをの企画に私ども介護福祉士会も参画させて頂きとてもうれしく感じております。福祉4団体、社会福祉士会、精神保健福祉士会、医療ソーシャルワーカー協会と一緒に何かができるという事はこの分野に係るものとして今まで以上の連携やつながりを強固なものになればと考えます。

社会福祉関係に係る人がせつかく志して職についても、1年未満にやめてしまう方が20%以上という状況があり、又担い手が不足しているという観点からもより一層の協力関係のもとに福祉の魅力や楽しさを伝えることができればよいと思っております。皆様のますますのご繁栄と今後のご活躍を祈念申し上げます。

2012年5月26日土曜日、第12回通常総会が札幌市大通にある札幌市社会福祉総合センターにて開催されました。

今回の総会の議案は審議事項が3件、報告事項が3件でしたが、今回の総会の目玉である、議案第一号にありました公益社団法人申請に向けた定款改正案を中心にご報告いたします。

法人移行期限である2013年11月末まで会として着実な準備が必要とされ、道庁担当者からのご助言のもと、理事会、総務委員会で協議しております。その申請準備に、法人運営の根幹である定款を提出する必要がありますが、変更点が数点あり今回の総会で担当理事である当方より説明致しました。

今回の議案にもありましたが、今年2月の本会広報誌発送時にすでに定款改正案をお示しし、パブリックコメントも募集いたしておりました。改正案に対しての投稿はなく、また総会審議でのご質問はありませんでしたが、今後も法人移行に関し、万全を期して登記を完了するため理事会及び総務委員会において協議していくこととなります。

続いて役員選任規則、費用弁償規則の改正、事業報告、収支決算等を各担当理事より説明や報告を受け、参加者からの活発なご質問もあり、約2時間程度の開催となりました。

2011年度が終わりましたが、昨年度は東日本大震災を受け現地での支援活動、今回の総会にもありました公益法人移行、今年度から始まる新生涯学習についての協議が始まるなど大きな変革の年でした。今年度も昨年度同様実りある会の運営になることを願い、今回の総会報告とさせていただきます。



■ 地区支部活動報告

● 道央地区支部

新年度が始まり、報告事項はまだありませんので、今後の予定についてご案内します。

4月号にも掲載しましたが、6月23日(土)に岩内町認知症の人を支える家族の会(ゆずりはの会)の5周年記念口演との共催で、道央地区支部社会福祉セミナーを開催します。岩内町地方文化センターを会場に講師の神田織音さんをお招きし、口演をいただきます。

翌日の6月24日(日)に道央地区支部ぱあとなあ登録者学習会を開催します。道央地区支部登録者へご案内しているので、該当の方は是非ご参加ください。

翌週の6月30日(土)には道央地区支部全体会を小樽市にて開催します。地域づくりシートを応用した会運営について、演習を兼ねて支部の運営について共に考える研修も合わせて行う予定です。

研修終了後に支部全体会を開催し、合わせて意見を頂ければと考えています。ぜひ、ご参加をよろしくお願いいたします。

また7月20日(金)には北空知介護支援専門員連絡協議会、深川市認知症ケア研究会との共催により、国立長寿医療研究センター内科総合診療部長遠藤英俊先生をお招きして、認知症にかかる研修会を開催する予定となっております。詳細につきましては、道央地区支部のホームページをご覧ください。

その他、道央地区支部社会福祉セミナー、道央地

区支部全体会、研修会のご案内はホームページにも掲載しております。他支部の方の参加も可能ですのでご確認ください。

道央地区支部ホームページ：

<http://info-douo-hokkaido-csw.com/>

● オホーツク地区支部

こんにちは、オホーツク地区支部です。オホーツク地区支部では、4月14日に地区支部会員の小山穂積さんと西立夫さんから被災地支援活動報告をいただきました。現地ではまだまだ支援を必要としていることや悲惨な現状があったことなどが報告されました。また、その後地区支部全体会を行い、1年間の活動・決算報告を行い、参加者全体で1年を振り返ることができました。今後の予定については、6月16日に役員会を予定しています。

(佐々木)



● 十勝地区支部

はじめまして。今年度より十勝地区支部事務局を務めさせていただきます。医療法人社団博愛会 開西病院 医療ソーシャルワーカーの鹿内輔と申します。何卒宜しくお願い致します。

さて、十勝地区支部では4月14日に平成24年度十勝地区支部定期総会を開催いたしました。総会前に、平成21年度に「十勝の社会福祉士の顔が見える取組み」として設置された十勝らしき委員会より、

「私は社会福祉士です」プレゼン企画報告 「医療的ケアを必要とする子どもと家族の支援」と題して北海道社会事業協会帯広病院 医療ソーシャルワーカー 係長 田巻憲史氏より講演いただきました。

講演では、ケア・支援の継続性を確保するため、社会福祉士がさまざまな場面で重要な役割を担っている事を強く感じ、エンパワメントと地域づくりの実践に触れることで多くの刺激をもらうことが出来ました。

今後の予定としては、締切りの関係上今回報告をする事が出来ませんが、6月2日に第一回定例学習

会として「多機能型事業所あいとうが目指す地域支援」と題し、多機能型事業所あいとうの斎藤征人氏を講師にお招きし、4月1日にオープンした「市民活動プラザ六中」にて施設案内と実践報告を頂く予定としています。

また、7月2日、8月6日に成年後見人フォローアップセミナー。地域包括支援センター評価シート研修、道東3地区支部合同研修会を8月中の開催で調整しております。

(鹿内)

● 釧根地区支部

釧根地区支部ではイオンで行われていた「2011年度イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加し、去る4月22日贈呈式に出席しました。キャンペーンの概要は以下の通りです。(イオンホームページより抜粋)「毎月11日のイオン・デーには、地域のボランティア団体などの名前と活動内容を書いた投函BOXをお店に置いています。この日は、お客さまがレジ精算時に受け取られた黄色いレシートを応援したい団体の投函BOXへ入れていただくと、お買い上げ金額合計の1%が地域ボランティア団体などに希望する品物で寄贈されます」当支部には総額4,840,000円の寄付があり、その1%48,400円分が贈呈されました。今後の学習会や研修会等を記録し、貸し出しやyoutubeの活用による動画配信などにも役立てるため、ビデオカメラを頂きました。その他コピー用紙や紙ファイルなどの消耗品及び入会案内や返信用に係る切手を購入しています。

当キャンペーンで得られたものは、地域からの期待と信頼と受け止め、地域福祉に貢献できるよう今後も活動を続けていきます。

(宮田)



● 日胆地区支部

去る5月13日(日) 苫小牧市民活動センターにて平成24年度地区支部全体会を開催しました。全体会では(1)平成23年度事業報告(2)平成23年度収

支決算報告（3）平成23年度監査報告を行い、その他説明事項では地区支部として新生涯研修制度への対応強化を目的に研修委員会を本年度より創設することとなり経緯と説明を行いました。また、共通研修課程修了申請の説明も同時に行い、多くの会員さんに修了申請をしていただけるように機会を設けました。今年度も始まったばかりですが各種事業が円滑に遂行されるよう、支部役員の方々と協力し取り組んで参りたいと考えております。（高橋）

◀ 今後の事業予定 ▶

[ブロック研修]

○ 市民との学習会「福祉・寺子屋事業」

開催時期 平成24年8月 会場 胆振西部

テーマ 「地域の権利擁護について」※詳細は後日

○ ぱあとなあ北海道・登録者受任者研修

開催日 平成24年6月23日（土曜） 会場 苫小牧市民活動センター

○ 平成24年度「成年後見・権利擁護セミナー」

開催日（予定）平成24年7月14日 会場 胆振西部 ※詳細は後日

● 道北地区支部

○ 2012年度 春季セミナー（5月19日）

2012年5月19日（土）14時15分から、旭川建設労働者福祉センター（サン・アザレア）3階ホールにて、新生涯学習制度説明会の後に春季セミナーを開催しました。春季セミナーでは『「ひきこもり」経験をこれからの人生の宝に』と題して、北海道社会福祉士会事務局長であり、多方面でご活躍されている 田中 敦 氏にご講演をいただきました。

一般の方10名を含む54名の方が参加され、「ひきこもり」の発見と歴史、概念等について詳しくお話しいただき、相談支援では特に家族支援が大切で、「本人が安心してひきこまれる環境作り」をすることで「安心して外に出ることができる」とのお話がありました。また、田中氏がNPO法人等で取り組んでいる様々な活動内容をお聞きし、今後の課題等について学びました。



○ 2012年度 第1回総会

2012年5月19日（土）15時30分より、旭川建設労働者福祉センター（サン・アザレア）3階ホールにて開催しました。北海道社会福祉士会からは、春季セミナーの講師を務めていただきました田中敦事務局長に引き続きご出席をいただきました。馬場支部長の挨拶に続き、議場から石橋秀子会員を議長に選出しました。議長の進行の下、資格審査報告の結果、119名（議場出席38名、代理人32名、書面票決49名）の会員の出席により総会は成立し、総会成立宣言後議事に入りました。2011年度事業報告、決算報告及び監査報告、2012年度事業計画、収支予算について報告し、承認をいただきました。また、規約の一部改正、役員改選の審議が行われ、事務局案のとおり議決されました。

2011年度決算報告の中で、連結決算のため繰越収支差額の収入表記がわかりにくいとの意見があり、今後会員にわかりやすい内容と説明が求められました。



その他として、成年後見人養成研修の地区支部推薦5名が決定した報告がありました。

皆様のご協力により無事に総会を終了することができました。この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

第2回総会は秋季セミナー開催時に行う予定です。

※ 道北地区支部 公式ウェブサイトにも各種情報を掲載いたしますので、ご覧ください。

<http://www.douhoku-csw.org/>

道北地区支部 小笠原（広報担当）

● 道南地区支部

道南地区支部では5月13日、平成24年度道南地区支部総会を57名の出席（委任33名）にて開催しました。

今回の総会では事業報告のほか、折目支部長より日本社会福祉士会が4月1日より連合体に移行した

事、北海道社会福祉士会の公益法人移行に伴う連結決算や研修会等事業の公益性の向上、地区支部総会の名称が全体会になる事、新生涯研修、認定社会福祉士制度等の説明があり、今後の社会福祉士会が目指す方向について確認しました。

また、今年度より道南社会福祉士会では、私たちが社会福祉の専門職団体として、幅広い社会福祉実践を展開するため、そしてその実践を会員が企画・運営段階から参加、創造できるよう「部会」（研修、成年後見、組織、情報）を設置することも確認しました。

社会福祉士会として、誰もがその人らしく生活することが出来るよう、様々な支援を実践していきたいと思えます。

ソーシャルワーカーデーのご案内

日時：平成24年7月16日（月）海の日

12時開場 12時30分開演 15時終了

場所：北海道大学 学術交流会館 大講堂

内容：被災地支援ドキュメンタリー「手の中の武器」上映

吉本涼監督の講演

被災地支援報告（社会福祉士会・介護福祉士会・精神保健福祉士会・医療ソーシャルワーカー協会）

東日本大震災の復興支援を進める中、いろいろな人によって様々な支援方法があります。一般のボランティアの方たちによる支援活動でも、小さな支援活動があちこちに見られます。私たちにできることはなんだろう、必要とされることってなんだろうと考えさせられるドキュメンタリーとなっています。淡々とすすみゆく映像を見ていく中で、ふと我に返った時、形にこだわらない支援に気づくことができると思います。今回、福祉4団体が共催という形でこのソーシャルワーカーデーの記念行事を行います。北海道介護福祉士会・北海道精神保健福祉士会・北海道医療ソーシャルワーカー協会・北海道社会福祉士会という4団体が終結し、協力体制を考えながら 私たちに求められる専門職としての支援はいったいどうあるべきなのかということを考えていきたいと思えます。各団体の活動の報告もあります。今回は各高校等の学生さんにも呼びかけをしておりますので一般の学生方にも広くソーシャルワークについて知っていただきたいと思えます。どうかお誘い合わせの上ご来場いただければと思えます。

—公共交通利用案内—

JR「札幌駅」下車、徒歩 10分

市営交通・地下鉄南北線・東豊線「札幌駅」下車、徒歩 15分

市営交通・地下鉄南北線「北12条駅」下車、徒歩 10分

総会終了後、第2部として研修会を開催。テーマ

は「医療・介護・障害、各分野における制度改正のポイント」と題し、①「診療報酬改正のポイント」講師、函館稜北病院 青木達人氏、②「介護保険法改正と介護報酬改正のポイント」講師 地域包括支援センターあさひ 熊木勝弘氏、③「障害者自立支援法改正（つなぎ法案）のポイント」講師 折目泰則氏の3部構成にて実施。

質疑では各分野の制度改正の中、福祉の専門職としての社会福祉士が、どのような視点で何をしているのかなどを中心に意見交換がなされました。

南地区支部 事務局 西元



吉本 涼 監督

事務局から

●新しく入会された会員様

御入会ありがとうございます。

今後も様々な研修等で情報等を学び合い、協力し社会福祉の専門職として磨いていきたいと思います。北海道の社会福祉士としての水準の維持・向上には現場の社会福祉士及び北海道社会福祉士会の努力が預かっています。皆様1人1人の活動を支えることができる組織として努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

●2012年度支部会費について

口座引き落としの場合、第1回目として、5月14日(月)に5110円(手数料110円含む)の引き落としがありました。残高不足の場合、自動的に次回の引き落としは7月12日(木)です。所定の口座へご入金いただきますよう、ご協力をお願いいたします。※処理効率化のため、口座引き落とし手続きへのご協力をお願いいたします。

●7月～8月のスケジュール

月	行事	日	会場
7月			
8月			

－ 会員の動向（4月31日現在）－

- 総会員数 1,626名
(男性：844名、女性：782名)
- 入会率 23.4%
- 新入会員数(転入含) 23名
- 退会員数(転出含) 3名

※入会申込書をご希望の方は当会までご連絡下さい。

社団法人 北海道社会福祉士会

〒001-0010 札幌市北区北10条西4丁目1番地SCビル2階

TEL 011-717-6886 (月～金) FAX 011-717-6887:30～12:00/13:00～16:30

E mail info@hokkaido-csw.org URL <http://www.hokkaido-csw.org/>